

令和5年度

甲子園大学大学院 博士前期・後期課程

学生募集要項

栄養学研究科 食品栄養学専攻

甲子園大学

栄養学研究科の概要

本学栄養学部は昭和42年創設以来、人の健康保持に欠くことのできない栄養について医学、農学、保健学、家政学の学際分野を統合した体系的な栄養学教育を実施し、建学の精神である「勤勉努力、和衷協同、至誠一貫」に基づいた人間性豊かな有為な人材育成に多くの成果を上げてきた。

そこで本学では、なお一層の教育・研究の発展並びに高度化し、多様化する現代社会の要請に応えるべく、この栄養学部を基礎として平成4年度から栄養学研究科食品栄養学専攻修士課程を置く大学院を開設し、さらに平成14年4月から博士後期課程を開設し、同時に修士課程は博士前期課程に移行した。両課程では以下に示すように栄養学と食品学の2領域を設け、さらにそれぞれの領域に2部門を配置している。

栄養学研究科のアドミッションポリシー

【博士前期課程】

栄養学と食品学の2領域を設け、栄養学領域は基礎栄養学と臨床的な分野を含む応用栄養学の2部門から成り、幅広く現代社会に対応した教育・研究を行う。食品学領域は高度な機器分析を活用する食品分析科学と食糧資源の枯渇に対処する食資源利用学の2部門から成り、食品の機能性と安全性と食糧資源の確保を追求する教育・研究を行う。

これら2つの領域を基盤として食品栄養学を習得し、専門的な考え方や専門技術を生かして社会に貢献することを目指す人を求める。

【博士後期課程】

基礎栄養学、応用栄養学、食品分析科学、食資源利用学の4部門を設ける。博士前期課程で修得した知識、技術および考え方を基盤に各部門においてより深い知識と思考力を身につけ、大学や企業および各種の試験研究機関において活躍できる自立した研究者および教育者を目指す人、さらに地域社会においてリーダーシップを発揮し、健康づくり運動等を積極的に推進できる能力を有し、実践的な指導者を目指す人を求める。

1 募集人員

研究科	専攻	課程	募集人員
栄養学研究科	食品栄養学専攻	博士前期課程	6名
		博士後期課程	2名

2 出願資格

博士前期課程

- (1) 大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和5年3月31日までに22歳に達する者
- (7) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

博士後期課程

- (1) 修士の学位を有する者及び令和5年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和5年3月31日までに24歳に達する者
- (5) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

注) 上記博士前期課程の(6)又は博士後期課程の(4)により出願を希望する者は、8頁の「出願資格審査の申請」の項を参照のうえ、所定の手続を行うこと。

3 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口頭試問及び提出書類を資料とし、これらを総合して行う。

4 試験日及び試験科目

○ 博士前期課程

A方式

年 月 日	区 分	試 験 時 間	備 考
第1次 令和4年 8月29日(月)	外国語 (英語)	9:30~11:00	辞書の持ち込みを認める。 (電子辞書の持ち込みは認めない。)
	専門科目	11:10~12:40	専攻を希望する部門から2問、その他の部門から2問を選択し計4問を解答する。
第2次 令和5年 2月2日(木)	口頭試問	13:30~	入学後専修を希望する部門に関する ことについて行う。

B方式(社会人対象)

年 月 日	区 分	試 験 時 間	備 考
第1次 令和4年 8月29日(月)	外国語 (英語)	9:30~11:00	辞書の持ち込みを認める。 (電子辞書の持ち込みは認めない。)
	卒業論文、職業経験または入学後の展望に関するプレゼンテーションおよび質疑応答	11:10~	各自15分間発表し(パワーポイントによる発表や、ポスター、配布資料など、形式自由、ただし事前に大学院事務室の了解を得ること)、その後、10分間質疑応答
第2次 令和5年 2月2日(木)			

【注】B方式における社会人とは、入学時において、大学卒業後1年以上でかつ23歳以上の者とする。

○ 博士後期課程

年 月 日	区 分	試 験 時 間	備 考
第1次 令和4年 8月29日(月)	外国語 (英語)	9:30~11:00	辞書の持ち込みを認める。 (電子辞書の持ち込みは認めない。) 内部進学者は免除する。
	修士論文、職業経験または入学後の展望に関するプレゼンテーションおよび質疑応答	11:10~	各自20分間発表し(パワーポイントによる発表や、ポスター、配布資料など、形式自由、ただし事前に大学院事務室の了解を得ること)、その後、15分間質疑応答
第2次 令和5年 2月2日(木)			

5 試 験 場

甲子園大学 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

6 出願受付期間

第 1 次	令和 4 年 8 月 9 日 (火) ~ 8 月 22 日 (月)
第 2 次	令和 5 年 1 月 5 日 (木) ~ 1 月 18 日 (水)

7 出 願 手 続

(1) 提出書類等

書 類 等	備 考
入学志願票・写真票 受験票・副票	① 本学所定の用紙(裏面を含む)に本人が必要事項を記入したもの ② 写真(出願前3カ月以内に撮影した上半身、無帽正面向きで、縦5cm、横4cmのもの)を写真票の所定欄に貼り付けること
成績証明書 卒業(見込み)証明書 修了(見込み)証明書	① 博士前期課程 志願者は、出身大学の成績証明書及び卒業(見込み)証明書(出身大学長又は学部長が証明し、これを厳封したもの) ② 博士後期課程 志願者は、出身大学の学部及び大学院の成績証明書並びに大学院修士課程(博士前期課程)修了(見込み)証明書(出身大学長又は学部長、研究科長が証明し、これを厳封したもの)
修士学位論文等	博士後期課程 志願者は、修士学位論文の写し及び修士論文の要旨(2,000字程度) 修士の学位を取得見込みの者は、これに代え研究経過の概要(2,000字程度)
研究希望等調書 研究計画書	本学所定の用紙に本人が必要事項を記入したもの 博士前期課程 志願者…「研究希望等調書」 博士後期課程 志願者…「研究計画書」
受験承諾書	他の大学院在学者又は官公庁、会社等に在職中の者は、本学所定の用紙に所属研究科長又は所属機関の長が承諾したもの
登録原票記載事項証明書	日本国に居住している外国人は、市区町村長の交付したもの
入学検定料	30,000円(出願を郵送で提出する場合は、郵便普通為替とし、受取人指定欄及び住所欄は、記入しないこと)
受験票返送用封筒	出願を郵送で提出する場合は、定形長3号(12cm×23.5cm)の封筒に 簡易書留速達郵便料 664円分の切手を貼付し、受取人の住所、氏名を明記したもの

注) 1 **博士前期課程**の出願資格(2)により出願する者

独立行政法人大学評価・学位授与機構より学位を授与された者は、同機構が証明した学位授与証明書(授与見込みの者は、学位授与申請受理証明書)並びに最終学校及び科目等履修に関する学業成績証明書等を提出すること。

2 提出書類は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入すること。

3 提出された書類は、入学者選抜に関する目的にのみ利用し、その他の目的には使用しません。

(2) 出願受付

場 所 甲子園大学大学院事務室
〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号
時 間 平 日 午前9時30分～午後4時

(3) 出願時の注意

① 出願にあたっては、志望する専門科目の研究内容、社会人（有職者）にあつては授業科目の履修方法等に関する照会は、下記に問い合わせること。

なお、この問い合わせは出願開始日より少なくとも1カ月以上前に行うこと。

問い合わせ先 大学院事務室 0797-87-5111

② 郵送により出願する場合は書留速達郵便とし、封筒の表に「大学院栄養学研究科出願書類」と朱書きし、上記あてに締切日（当日消印有効）までに送付すること。

③ 出願期間内に所定の書類が完備しない出願は受理しない。また、いったん提出した書類及び入学検定料は、事由を問わず返還しない。

④ 本学栄養学部以外の出身者は、指導を希望する教員と出願前に研究計画等について協議しておくこと。

8 合格発表

第1次	令和4年9月15日(木) 午前10時	本学内に掲示するとともに合否にかかわらず全員に通知する。 電話等による問い合わせには、応じない。
第2次	令和5年2月17日(金) 午前10時	

9 入学手続

(1) 入学試験合格者は、次表の入学手続期限までに入学手続書類を提出すること。

入学金は、次項「10 入学金及び授業料等」により、納入期限までに全額を納入すること。

(2) 上記入学手続者には、入学許可書を送付する。

(3) 所定の期限までに入学手続を完了しない者には、入学を許可しない。

(4) 入学手続者のうち卒業（修了）見込み又は学位授与見込みで受験した者は、令和5年3月末日までに卒業証明書（修了証明書）又は学位授与証明書を提出すること。この証明書の提出がない場合は、入学許可を取り消す。

(5) 入学許可書を受領した者は、次表の授業料等納入期間内に授業料及びその他の納入金を納入すること。（次項「10 入学金及び授業料等」を参照のこと）

この期間内に納入のない場合は入学許可を取り消す。

- (6) 受理した入学手続書類及び入学金、授業料等については、事由を問わず返還しない。ただし、授業料等の返還希望を申し出て、次表の提出期限までに、本学所定の入学辞退届を提出した者に限り、入学金を除く授業料等を返還する。

区 分	入学手続期限	授業料等納入期間	入学辞退届提出期限
第1次試験合格者	令和4年 10月5日(水)	令和5年 1月4日(水)) 1月13日(金)	令和5年 3月31日(金) 15時
第2次試験合格者	令和5年 3月3日(金)	令和5年 2月24日(金)) 3月3日(金)	令和5年 3月31日(金) 15時

10 入学金及び授業料等

(1) 入学金

入学金は、下記の金額を納入期限までに一括して納入してください。

博士前期課程 200,000円

博士後期課程 250,000円

区 分	納 入 期 限
第1次試験合格者	令和4年10月5日(水)
第2次試験合格者	令和5年3月3日(金)

(2) 授業料等

授業料、実験実習費、施設設備費は、分割納入制を採用しておりますが、納入者の希望により前期納入金、後期納入金ごと一括納入もできます。

次表の金額を納入期限までに納入してください。

◎ 分割納入（博士前期課程・博士後期課程）

区 分	授 業 料	実 験 実 習 費	施 設 設 備 費	計	納 入 期 限
前 期 納 入 金	117,000	30,000	18,500	165,500	第1次試験合格者 令和5年1月13日(金)
					第2次試験合格者 令和5年3月3日(金)
二 次 納 入 金	117,000	30,000	18,500	165,500	令和5年7月20日(木)

後期 納入金	一次 納入金	117,000	30,000	18,500	165,500	令和5年10月20日（金）
	二次 納入金	117,000	30,000	18,500	165,500	令和6年1月19日（金）

◎ 一括納入（博士前期課程・博士後期課程）

区 分	授 業 料	実験実習費	施設設備費	計	納 入 期 限
前期納入金	234,000	60,000	37,000	331,000	第1次試験合格者 令和5年1月13日（金）
					第2次試験合格者 令和5年3月3日（金）
後期納入金	234,000	60,000	37,000	331,000	令和5年10月20日（金）

(3) その他の納入金

入学金、授業料等のほかに、財団法人日本国際教育支援協会の学生教育研究災害傷害保険料等を納入していただきます。詳しくは、合格通知書送付時にお知らせします。

11 奨学金制度

甲子園大学奨学金（仮称）並びに独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度があります。

12 長期履修学生制度

職業を有しておられる社会人の方々の学習機会を拡大する観点から、甲子園大学大学院では2015（平成27）年度から「長期履修学生制度」を導入しています。

この制度は、職業を有している等の事情で、通常の修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）で修了することが困難な方が標準修業年限を超える履修期間を設定し、計画的に課程を修了するためのものです。

詳細は大学院事務室までお問い合わせください。

出願資格審査の申請

博士前期課程の出願資格(6)又は博士後期課程の出願資格(4)により出願を希望する者は、出願前に資格審査を行うので、資格審査申請書類を大学院事務室へ請求すること。

なお、郵便で請求するときは、返信用封筒（郵送料120円分の切手を貼付し、受取人の住所、氏名を明記したもの）を同封すること。また、大学あての封筒の表に「大学院出願資格審査申請書類請求」と朱書きすること。

(1) 審査方法

書 類 審 査

(2) 提出書類

- ① 出願資格審査申請書（本学所定の用紙）
- ② 履 歴 書（本学所定の用紙）
- ③ 最終学歴の卒業証明書
- ④ 最終学歴の成績証明書
- ⑤ 学習歴、教育歴、実務・活動経験歴に関する申立書（本学所定の用紙）及びそれらを証明する資料
- ⑥ 研究希望等調書（本学所定の用紙）

(3) 申請期間

第1次 令和4年7月12日（火）～15日（金）

第2次 令和4年11月8日（火）～11日（金）

(4) 申請受付

場 所 甲子園大学大学院事務室

〒665-0006 兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

時 間 平 日 午前9時30分～午後4時

郵送により申請する場合は書留速達郵便とし、封筒の表に「大学院出願資格審査書類」と朱書きし、上記あてに締切日（当日消印有効）までに送付すること。

(5) 審査結果通知

第1次 令和4年7月29日（金）

第2次 令和4年11月25日（金）

出願資格審査の結果は、申請者に対し、上記期日までに文書により通知する。

受 験 上 の 注 意

筆 記 試 験

- ① 受験者は、各自が受験する試験科目の試験開始時刻の30分前までに、大学院事務室で試験室を確認のうえ、当該試験室に入室してください。
- ② 試験室に入室後は、座席表を確認のうえ、各自の受験番号の示されている座席に着席し、受験票を机上に置いてください。
- ③ 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試験開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ④ 試験開始の合図があるまでは、配布された問題紙、解答用紙に手を触れないでください。
- ⑤ 配布された問題紙、解答用紙には、必ず受験番号を記入してください。氏名は記入しないでください。
- ⑥ 試験中に机の上に置くことができるものは、受験票、筆記具、消しゴム及び計時用の時計のみとします。その他の手荷物はカバン等に入れ、各自の足もとに置いてください。
- ⑦ 携帯電話を持参する者は、試験終了まで電源を切っておいてください。
- ⑧ 試験開始後30分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ⑨ 試験終了の合図とともに答案の作成を中止し、着席したまま監督者の指示に従ってください。

口 頭 試 問

- ① 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試問開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ② **口頭試問開始時刻**後30分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ③ 昼食及び湯茶の必要な者は、各自持参してください。

プレゼンテーション試験

- ① プレゼンテーションに使用する資機材などについて、使用可能かどうか出願前に大学院事務室に照会、了承を得てください。
- ② 受験票は必ず持参してください。万一紛失又は忘れた場合は、試問開始までに大学院事務室まで申し出て、仮受験票の交付を受けてください。
- ③ **プレゼンテーション試験開始時刻**後30分以上遅刻した場合は、受験することはできません。
- ④ 昼食及び湯茶の必要な者は、各自持参してください。

栄養学研究科食品・栄養学専攻（博士前期課程）の教育課程

令和4年6月現在

授 業 科 目		単 位 数		担 当 教 員
		必 修	選 択	
講 義 科 目	基礎栄養学特論Ⅰ		2	教 授 寺 嶋 昌 代
	基礎栄養学特論Ⅱ		2	教 授 佐々木 裕 子
	基礎栄養学特論Ⅲ		2	教 授 亀 尾 聡 美
	応用栄養学特論Ⅰ		2	教 授 西 田 昌 司
	応用栄養学特論Ⅱ		2	教 授 塚 貴 司
	応用栄養学特論Ⅲ		2	教 授 野 間 智 子
	応用栄養学特論Ⅳ		2	准 教 授 市 橋 きくみ
	応用栄養学特論Ⅴ		2	専任講師 福 田 典 子
	食品分析科学特論Ⅰ		2	教 授 釜 阪 寛
	食品分析科学特論Ⅱ		2	准 教 授 佐 藤 典 子
	食品分析科学特論Ⅲ		2	准 教 授 谷 澤 容 子
	食資源利用学特論Ⅰ		2	教 授 木 本 実
	食資源利用学特論Ⅱ		2	准 教 授 林 晃 之
	食資源利用学特論Ⅲ		2	教 授 高 橋 延 行
	食資源利用学特論Ⅳ		2	教 授 大 橋 哲 也
演 習・実 験科 目	食品栄養学演習Ⅰ		1	教 授 佐々木 裕 子
	食品栄養学演習Ⅱ		1	教 授 亀 尾 聡 美
	食品栄養学演習Ⅲ		1	専任講師 吉 田 徳 之
	食品栄養学実験Ⅰ		1	教 授 盛 本 浩 二
	食品栄養学実験Ⅱ		1	准 教 授 瀬 尾 誠
	食品栄養学実験Ⅲ		1	准 教 授 松 岡 大 介
特 別 講 義		2		教 授 伏 木 亨
特 別 研 究		16		各 指 導 教 員

- 1 必修18単位、講義科目10単位、演習・実験科目2単位を含み30単位以上修得すること。

栄養学研究科食品・栄養学専攻（博士後期課程）の教育課程

令和3年6月現在

領域	部門	授業科目	単位数		担当教員
			必	修	
栄養学	基礎栄養学	基礎栄養学研究Ⅰ	8		教授 亀尾 聡美
		基礎栄養学研究Ⅱ			教授 佐々木 裕子
		基礎栄養学研究Ⅲ			教授 寺嶋 昌代
		基礎栄養学研究Ⅳ			教授 盛本 浩二
		基礎栄養学研究Ⅴ			専任講師 吉田 徳之
	応用栄養学	応用栄養学研究Ⅰ			教授 西田 昌司
		応用栄養学研究Ⅱ			教授 野間 智子
		応用栄養学研究Ⅲ			教授 塚 貴司
		応用栄養学研究Ⅳ			准教授 市橋 きくみ
		応用栄養学研究Ⅴ			専任講師 福田 典子
食品学	食品分析科学	食品分析科学研究Ⅰ	教授 釜阪 寛		
		食品分析科学研究Ⅱ	教授 伏木 亨		
		食品分析科学研究Ⅲ	准教授 佐藤 典子		
		食品分析科学研究Ⅳ	准教授 瀬尾 誠		
		食品分析科学研究Ⅴ	准教授 谷澤 容子		
	食資源学	食資源利用学研究Ⅰ	教授 大橋 哲也		
		食資源利用学研究Ⅱ	教授 木本 実		
		食資源利用学研究Ⅲ	教授 高橋 延行		
		食資源利用学研究Ⅳ	准教授 林 晃之		
		食資源利用学研究Ⅴ	准教授 松岡 大介		

- 1 研究科目に応じた所定の授業科目について、1科目8単位を修得すること。

大学院担当教員の主な研究内容

博士前期課程・後期課程

令和4年6月現在

栄養学領域

部門	担 当 教 員	研 究 分 野	主 な 研 究 内 容
基 礎 栄 養 学	教授 博士（環境科学） 亀尾 聡美	公衆衛生学 環境保健学	必須微量元素と健康に関する研究 客観的疲労評価と微量元素欠乏・食生活状況との関連 金属結合タンパク質の生体防御としての役割
	教授 博士（家政学）・管理栄養士 佐々木 裕子	基礎栄養学	発酵食品における生理活性物質の検索と機能性食品の開発
	教授 博士(理学)・NR・サプリメントアドバイザー 寺嶋 昌代	生 化 学	微生物由来の抗菌性色素の生理活性の研究
	教授 博士（医学） 盛本 浩二	食 品 衛 生 学	培養細胞を用いた食品成分の分析
	専任講師 博士（理学） 吉田 徳之	腫瘍生物学	がんとバイオマーカーに関する研究 免疫と栄養に関する研究
応 用 栄 養 学	教授 医学博士・医師 西田 昌司	細胞生物学	病気の細胞モデルにおけるストレス応答の研究
	教授 博士（保健学）・管理栄養士 野間 智子	地域栄養学	人の食行動の決定要因の解明と行動変容手法の開発に関する研究 ライフステージに応じた食教育手法に関する研究
	教授 医学博士・医師 塚 貴司	実験病理学	天然食品産物を用いた癌の予防/治療に関する基礎的研究
	准教授 博士（環境人間学）・管理栄養士 市橋 きくみ	臨床栄養学	透析患者の味覚閾値と透析間の体重増加に関する研究 生活習慣病に係る食行動や食習慣、栄養指導などの栄養管理に関する研究 高齢者の食行動や食習慣、栄養指導などの栄養管理に関する研究
	専任講師 博士（栄養学）・管理栄養士 福田 典子	スポーツ栄養学	大学生アスリートに対する栄養補給・栄養教育がパフォーマンスに及ぼす影響 大学生アスリートの心理状況とエネルギーおよび栄養素等摂取量の関連

大学院担当教員の主な研究内容

博士前期課程・後期課程

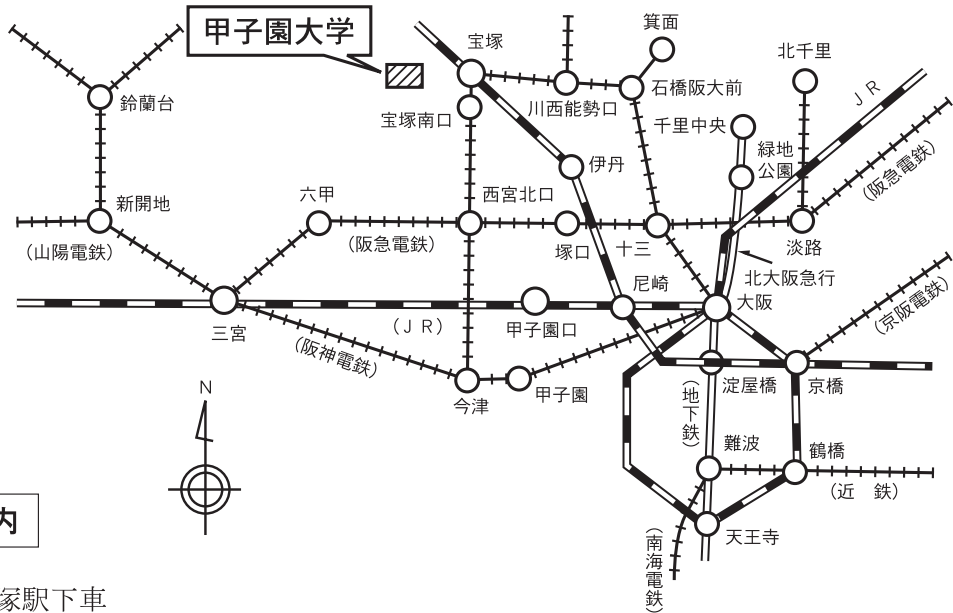
令和4年6月現在

食品学領域

部門	担当教員	研究分野	主な研究内容
食品 分析 科学	教授 博士（農学） 釜 阪 寛	食 品 嗜 好 学	各種嗜好食品の官能特性およびその嗜好性に関して、官能パネルおよび嗜好調査を用いて評価・解析することで、その嗜好特性を明らかにする。
	教授 農学博士 伏 木 亨	食 嗜 好 科 学	各種の食品や料理の総合的な嗜好性の評価と嗜好の理由を人のパネルを用いた解析によって数値化する。
	准教授 博士（学術） 佐 藤 典 子	食 品 学	食品加工中に生じる難消化性ペプチドに関する研究 食生活における未利用資源の活用
	准教授 博士（薬学）・薬剤師 瀬 尾 誠	分 子 栄 養 学 学 病 態 生 化 学 学	生活習慣病の発症予防・改善効果をもつ食品成分に関する研究 抗ストレス効果をもつ食品成分に関する研究
	准教授 博士（学術） 谷 澤 容 子	調 理 科 学	農産食品の調理加工におけるテクスチャー特性に関する研究 西欧・アジアの日常食に関する実態調査
食 資 源 利 用 学	教授 博士（工学） 大 橋 哲 也	食 品 加 工 学	結晶、非結晶の糖質に対して各種の処理することによって結晶変換や結晶化を行う。これによって球状結晶や多孔性結晶を作り出し、新しい粒子特性を持った糖質を作成する。
	教授 農学修士 木 本 実	食 品 製 造 学	大豆蛋白質を酵素分解し、製造したペプチドの特性研究と応用開発
	教授 農学博士 高 橋 延 行	食 品 科 学	食品機能特性に及ぼすたんぱく質構造の影響に関する研究 たんぱく質の安定性に関する構造生物学的研究
	准教授 博士（理学） 林 晃 之	植 物 機 能 学 学 細 胞 生 物 学 学	作物の収量や品種、成分及び各種耐性に関わる遺伝子やタンパク質の働きに関する研究
	准教授 博士（農学） 松 岡 大 介	生 物 機 能 利 用 学 学 植 物 分 子 生 物 学 学	植物酵素の応用及び分子生物学的研究 植物を利用した有用物質生産 細胞内シグナル伝達を利用した植物性食品の機能性強化

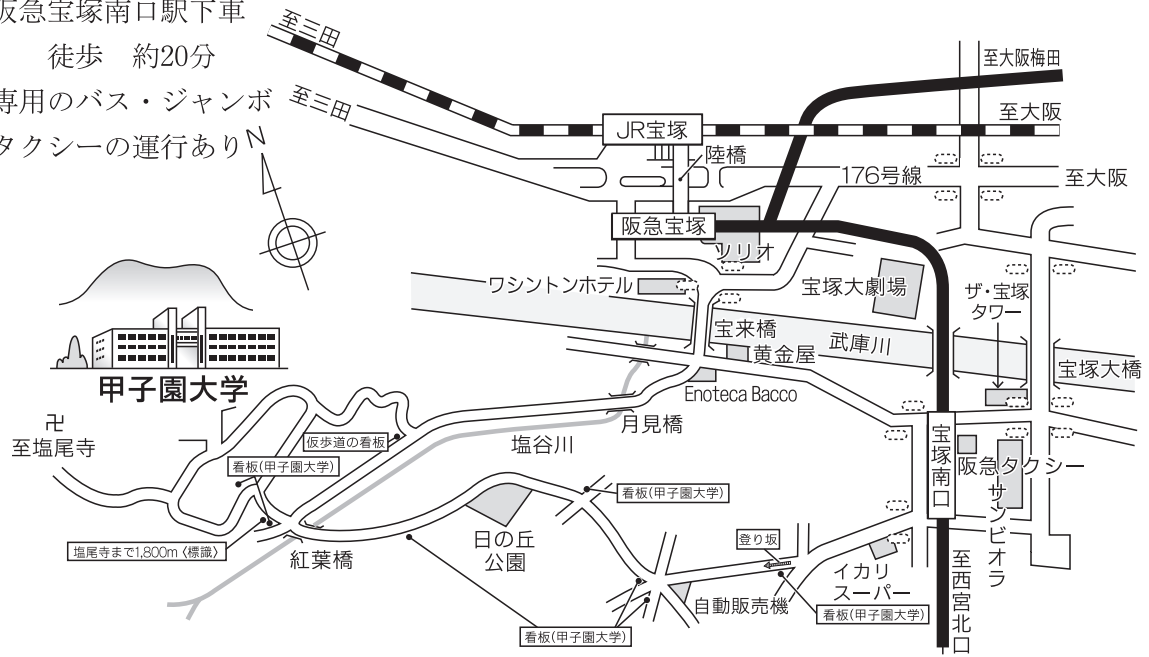
[甲子園大学大学院 案内図]

周辺交通機関図



交通案内

- J R 宝塚駅下車
- 阪急宝塚駅下車
徒歩 約15分
専用のバス・ジャンボタクシーの運行あり
- 阪急宝塚南口駅下車
徒歩 約20分
専用のバス・ジャンボタクシーの運行あり



(〇 信号)

・ 問い合わせ先 ・

甲子園大学 大学院事務室

〒665-0006 宝塚市紅葉ガ丘10番1号

TEL 0797-87-5111

FAX 0797-87-5666

URL <http://www.koshien.ac.jp>